



由布市 議会だより

YUFU CITY COUNCIL

No. 67
2022年8月



湯平子供神楽(金鱗湖横・天祖神社夏祭り)



大分川開き安全祈願祭

3年ぶりのお祭り!

CONTENTS

- 令和4年第2回定例会 概要 1
 - 議案質疑 1
 - 常任委員会報告 2
- 市政を問う（一般質問） 3～6
- 議会活性化調査特別委員会 報告 6
- 請願・陳情結果、賛否一覧、編集後記等 裏表紙

令和4年第2回定例会概要《6月8日～21日 14日間》

令和4年第2回定例会が開催されました。今定例会で提案された報告9件、承認4件、議案6件、請願3件を審議しました。そのうち請願2件を採択、1件を継続審査とし、他を原案通り承認・可決しました。一般会計補正予算では4億4,683万円を追加し、総額を213億528万1千円としました。

新型コロナウイルス緊急対策事業の主なものとして

- | | |
|------------------|-------------|
| ① 住民税非課税世帯給付金 | 1億3,089万7千円 |
| ② 子育て世帯生活支援特別給付金 | 4,621万1千円 |
| ③ 農業振興(資材高騰等緩和) | 4,088万7千円 |
| ④ 商工振興(プレミアム商品券) | 1億1,763万9千円 |



その他の主なものとして

- | | |
|-------------------|--------------------|
| ① 学校給食食材高騰対策事業補助金 | 1,500万円 |
| ② 新環境センター整備事業分担金 | 63億7,944万7千円 (継続費) |

本会議で

このようなことが
決まりました。

- ◆ 国民の祝日「海の日」の7月20日への固定化を求める意見書を国に提出
- ◆ 9月議会での「決算特別委員会」を設置
- ◆ 地方財政の充実・強化を求める意見書を国に提出
- ◆ 義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書を国に提出
- ◆ 市道での事故による和解成立他の専決事項の承認

議案質疑

令和4年度由布市土地開発公社の事業計画を説明する書類の提出について

Q 具体的な事業計画は。

A 下湯平の公有用地は、令和3年4月1日より国道210号の災害復旧工事にかかわる資材置き場として、大分河川国道事務所に貸付料を免除し貸し付けており、貸付の終了期間は令和5年5月31日までとなっている。貸付終了後の具体的な事業計画は現時点ではない。

令和4年度由布市一般会計補正予算(第2号)

Q コミュニティ施設整備促進事業、狭霧台園地のトイレ改修工事の内容について。

A 給水タンク設置工事費134万2千円と水中ポンプの取り換え工事費270万6千円となっている。

Q 新型コロナウイルス緊急対策事業、福祉事業所等支援金2千万円の内容は。

A 対象は、市内の介護サービス事業所、障害サービス事業所、子育て関連事業所、歯科薬局を含む医療関係事業所約240か所で、支援金額は従業員10人以下は5万円、11人から30人は10万円、31人以上は20万円を交付するもの。

Q 火葬場運営整備事業の修繕費の内容は。

A 湯布院の火葬場、望岳苑の2号炉のタッチパネル故障による取り換え修繕費。

Q 公立学校施設災害復旧費、調査業務の具体的な内容は。

A 湯布院小学校、湯布院中学校、由布川幼稚園の地震の被害による災害復旧事業費で、国庫補助金の申請に必要な調査や書類作成を委託するもの。

新型コロナウイルス緊急対策事業(プレミアム商品券)について

Q 県下一斉となっているが時期が一斉なのか、期間が一斉なのか。

A 大分県の示している期間は、令和4年8月ごろからを目安に終期を12月までとし、使用期間を原則3か月間としている。

Q 電子版は準備が間に合うのか。

A 業者との協議の結果、10月実施予定で間に合うと報告を受けている。

Q 大分県の補助金の割合は。

A 大分県は20%、それを超える分については由布市負担となっている。

Q 基本的に10月スタート、紙で25,000冊、電子で5,000冊これでよろしいか。

A そのような解釈で良い。紙で30%、電子で40%のプレミアムを付ける内容となっている。

総務常任委員会

承認 専決処分の承認を求めることについて

第2号 令和4年度由布市一般会計補正予算(第1号)

歳入歳出にそれぞれ264万2千円を追加し、歳入歳出予算の総額を208億5,845万1千円とするもの。

第3号 由布市税条例等の一部を改正する条例

地方税法等の一部を改正する法律の公布に伴い条例の一部を改正するもの。

第4号 由布市税特別措置条例の一部を改正する条例

地域再生法第17条の6の地方公共団体等を定める省令及び過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法第24条の地方税の課税免除、又は不均一課税に伴う措置が適用される場合等を定める省令の一部を改正する省令の公布に伴い、条例の一部を改正するもの。

全て、全員一致で原案承認

おおいた消防指令センターシステム整備業務委託契約の締結について

おおいた消防指令システム構成機器等の製造の請負を含む業務の委託契約を締結するため「由布市議会の議決に付すべき契約及び特に重要な公の施設の廃止に関する条例」第2条の規定により議会の議決を求めるもの。

令和4年度由布市一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出にそれぞれ4億4,683万円を追加し、歳入歳出予算の総額を213億528万1千円とするもの。

歳出の主なものは、コミュニティ施設整備促進事業(湯布院)の工事請負費404万8千円は、指定管理施設である狭霧台園地において、トイレの給水施設に支障が生じていることから、水中ポンプの取り替えや新たな貯水タンクの設置など給水設備に伴うもの。

個人番号カードの交付事業では、マイナンバーカードの交付率向上に向けた委託料、印刷代などが主なもの。

全て、全員一致で原案可決

教育民生常任委員会

承認 専決処分の承認を求めることについて

第5号 由布市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

令和4年政令第133号による地方税法施行令の改正に伴い、条例の改正を行うもの。

全員一致で原案承認

令和4年度由布市一般会計補正予算(第2号)

歳出の主なものは、新型コロナウイルス緊急対策事業の住民税非課税世帯給付金等1億3,089万7千円、子育て世帯生活支援特別給付金等4,621万1千円、福祉事業所等支援金2,062万4千円、幼児教育保育施設等支援事業費補助金490万1千円、学校給食食材高騰対策事業補助金1,500万円。担当する課がしっかり連携して事業に取り組み、よりよい支援事業となるよう意見を付した。

令和4年度由布市介護保険特別会計補正予算(第1号)

県の自立支援型サービス加算推進事業費補助金が決定したことに伴う歳入増加分と、介護予防事業費報酬増額による歳出の増額に伴うもの。

全て、全員一致で原案可決

産業建設常任委員会

由布市水道事業の設置に関する条例の一部改正について

由布市簡易水道事業を水道事業に統合した際、庄内町において給水区域外の地域が指定されていたため、これを改めるもの。

市道路線の認定について

路線名	起点	理由
	終点	
国道210号側道線	挾間町挾間558番7地先	国道210号からの側道移管
	挾間町下市456番9地先	
阿蘇野養魚場線	庄内町阿蘇野4034番11地先	県道(田野庄内線)からの旧道移管
	庄内町阿蘇野4119番1地先	

令和4年度由布市一般会計補正予算(第2号)

主な審査項目として、債務負担行為における、新環境センター整備事業分担金、限度額63億7,944万7千円は、令和9年10月の供用開始までの設計・建設費用、および供用開始から約20年間の県内6市での運営・維持管理に係る分担金に関して設定するもの。

歳出の主なものは、水道未普及地域改善事業534万1千円は庄内町阿蘇野の上重水道組合の新たな井戸の掘削等に対する補助金。農業振興費として、4,088万7千円は、生産資材等、価格高騰の影響を緩和するため、認定農業者・基準面積以上の栽培を行う農家・増頭した畜産農家に対し補助するもの。商工振興費として、1億1,763万9千円は、市内景気のリスク対策としてプレミアム率30%の紙クーポン2万5千セット、40%の電子クーポン5千セットの発行に係る事務費等に対する補助金。

委員会として、プレミアム付商品券発行事業補助金については、登録事業者の拡充や利用方法の周知等、準備を入念に行ない、商品券を完売できるよう努めるべきとの意見があった。

全て、全員一致で原案可決

- 田中 真理子 議員
公民連携事業について 他
- 加藤 幸雄 議員
「湯布院観光について」パートII 他
- 甲斐 裕一 議員
プラスチックごみの削減について 他
- 坂本 光広 議員
野良犬・野良猫の対策について 他
- 志賀 輝和 議員
小中学校の教育現場の対応について 他
- 淵野 けさ子 議員
地方創生臨時交付金の活用について 他
- 佐藤 孝昭 議員
由布市のスポーツ環境・推進について 他
- 鷲野 弘一 議員
国道 210 号線改良促進の現状について
- 加藤 裕三 議員
市民サービスの向上について 他
- 平松 恵美男 議員
由布市の遊休地の活用について 他
- 首藤 善友 議員
日出生台米軍演習等について 他
- 高田 龍也 議員
由布市の農政について 他
- 太田 洋一郎 議員
日出生台演習場での米軍射撃訓練について 他



田中 真理子 議員

「公民連携事業について」
他

Q 公民連携事業について。

A 平成 23 年の協定締結以降、本年 4 月まで市内外 18 事業者と、地方創生、防災、子育て支援、産業支援等に協働で取り組む事として、本市が抱える課題解決に寄与していただいている。今後については、市と締結事業者間や市内事業者との交流により、地域課題解決に向けた取り組みが出来るように、又、大学との連携においても新しい感覚や技術を生かし、若者が活躍できる場所を提供するなど検証し調整していきたい。

Q 「生きる力」を育む学校教育の推進について。

A 「生きる力」を育む教育とは、単に知識や技能の習得を目指すだけでなく、正解のない、答えのない課題に対して仲間と対話を重ねることを通して、納得理解を得ることを目指し、その思考の過程や、今後の活用を評価することと捉えている。

※この他、学校給食費の検討、インボイス制度について質問した。



加藤 幸雄 議員

「湯布院観光について」
パートII について 他

Q 湯平温泉の現状とこれからの計画について。

A 湯平温泉は、令和 2 年の豪雨災害の復旧作業が「湯平地域災害復旧・復興計画」により行われている状況。その後、観光基本計画に基づく取組みとエリア別を併せて進めていきたい。

Q 由布市内に在住する市民に由布市内の宿泊施設を利用した場合、上限を 1 万円にして半額由布市が支援する考えは。

A 宿泊施設利用に対する補助事業として、市民の宿泊に対し 1 万円の宿泊券を交付する「5 千人ゆふ泊キャンペーン」を 12 月から開始を目指している。

Q 由布市発注の建築・土木・備品等の由布市業者の落札率について。

A 令和 3 年度の実績。建築・土木関係は 563 件、うち市内業者 473 件、市外業者 10 件、入札不調 80 件で市内業者は 84%。備品関係は物品購入 30 件、うち市内業者 4 件、市外業者 23 件、不調が 3 件で市内業者は 13.3%。測量・設計等委託業務は 58 件、うち市内業者 21 件、市外業者 36 件、不調が 1 件で市内業者は 36.2%。災害復旧工事は市内業者を対象に実施している。

Q システム関係の業者が由布市内にない。起業を進めているか。

A 積極的に行っていないが、検討していきたい。



甲斐 裕一 議員

「プラスチックごみの削減について」 他

Q プラスチックごみの削減について、海洋環境の問題等が注視され、国会で資源循環に関する法律「プラスチック資源循環促進法」が、今年度 6 月から施行されたが、市としてどう取り組んでいくのか。

A 従来、施行されている「容器包装リサイクル法」で、正しいリサイクルごみの分別がなされるようになり、一定程度の浸透・成果が上がっていると思われる。今年度から新たに施行される「プラスチック資源循環促進法」については、製品プラの数量調査等が必要なことから、調査研究を行い大分市と連携して取り組んでいく。

Q 農業政策について、県市では水田畑地化を目指して、ハト麦・白ネギを推進しているが、その現状は。また、2030 年から生産調整制度が廃止となるが、今後の推進計画、特にマーケットの確立が重要だが、何か方策はあるのか。これには農協改革が必要と思われるが、その対策はどうか。

A 水田畑地化対策として、ハト麦・白ネギの他、12 品目を推進計画に上げ、高収益を目指している。マーケットについては農協が得意としている分野と思っている。農協職員にも優れた指導者もいるので、県普及員と一体的にした農業振興を目指していく。



坂本 光広 議員

「野良犬・野良猫の
対策について」 他

Q 野良犬・野良猫についてどのような対策を行っておりますか。

A 動物に関する業務は、平成 31 年 4 月から大分市廻栖野にあります、おおいた動物愛護センターに移管しており、同センターでは、責任ある飼育の指導と啓発等の趣旨に基づきまして大分県と大分市で共同運営しており、動物に関する苦情処理や、保護された犬・猫の情報提供や譲渡会、引き取り手が見つからない場合の殺処分につきましては、所定の手続きを経た上で処理されております。由布市として、令和 2 年 8 月におけるおおいた動物愛護センター拠点型手術事務処理要綱を定めまして、飼い主のいない猫による環境問題の解決や猫の殺処分を減らすことを目的とするおおいたさくら猫プロジェクト事業に取り組んでおり、この事業に対して現在由布市では、32 団体の登録があります。また、チラシや SNS を活用して、犬・猫の殺処分ゼロに向けて署名活動や里親活動を行っている団体があることも承知しております。

その他、災害の復旧状況、庄内町の過疎債について質問しました。



志賀 輝和 議員

「小中学校の教育現場の
対応について」 他

Q 一人一台タブレットの活用での教室機の狭さによる授業進行の妨げ要因対策について。

A 新入生の機の補充は新 JIS 規格のものに入れ替えている。一部の学校では低学年の学用品の落下防止策として専用のカバーを机に装着している。

Q 由布市の不登校児童・生徒の実態とその対策について。

A 令和 2 年度、3 年度の不登校児童生徒数はそれぞれ 41 人。対策は子供支援センターを教育委員会内に設置をし、教育支援センター「コスモス」、就学相談員、臨床心理士を配置し、支援にあたっている。

Q 由布市のヤングケアラーの実態と対策について。

A ヤングケアラーと心配される子供は 3 名となっている。各学校、子育て支援課、児童相談所、大分南警察署及び学校教育課が一体となり見守りを行っている。

Q 児童クラブの待機児童対策について。

A 今後も児童クラブ利用希望者や受け入れ実態の把握に努め、保護者が安心して社会活動ができるよう努める。

そのほか、特別支援学級の確保対策について、由布市の農業用水路の保全対策について質問をしました。



湊野 けさ子 議員

「地方創生臨時交付金の
活用について」 他

Q 地方創生臨時交付金の活用について、生活支援で何が出来るか、事業者支援で何が出来るか、考えを問う。

A 由布市には 1 億 7,360 万 8 千円の限度額の通知があり、当初予算で計上している事業者支援一時金を含め 8 事業で 2 億 9,300 万円を計上した所です。(実施事業の詳細は議会中継の録画をご覧ください)

Q 由布岳塚原道の駅事業について問う。平成 28 年由布岳スマートインター開通より念願の道の駅構想は、湯布院地域の重点項目にも上がっている。地域の方は当時の思い以上。

A 地元住民や関係者と協議を行う中で、塚原地域の目指す将来像を描き、道の駅も含めた拠点づくりを検討していく事も必要と考える。

Q 由布川小学校の建設を計画的に考えて！

A 学校現場の意見を取り入れながら調査・研究を進め、充実した教育が受けられるよう増築や改築等を含め諸問題解決に向け取り組む。

※この他、中学校の制服問題、子どもの視力障がい、改正所有者不明土地特措法についての質問もしました。



佐藤 孝昭 議員

「由布市のスポーツ環境・
推進について」 他

Q 由布市のスポーツ施設の利用者や管理者からの改修要望や改善要望はどう受付され把握に努めているのか。

A 施設管理人から直接報告を電話等で受け、現地確認し対応している。

Q では、スポーツ施設の利用者や管理人から洋式水洗トイレにして欲しい等のトイレ整備の要望は私もしてきたが把握されているか。

A 多少こうなればと聞かすが、どうかして欲しいとは詳しく聞いていない。

Q 市外からも利用が増えるであろうこれからの時代、スポーツ施設のトイレ水洗洋式化・トイレ整備に取り組んでいくべきでは。

A 市内施設等のトイレの戸数等を調査し洋式化の研究をしたい。

Q 病気や後遺症等で公共施設の男性トイレにも汚物入れBOXを必要とされている方がいます。設置の方向性は。

A そう高価なものでないので、買って備え付けたい。

ほかに「中学校の運動部活動の地域移行問題点」「スポーツや文化に功績のある人財を採用確保していかないか」「第 2 子を生み育てやすい環境か」「年度途中の待機児童者対策は」「軽の救急車導入は」「庄内地域の地域活性化拠点施設整備」等について質問しました。



鷺野 弘一 議員

「国道210号線改良促進の現状について」

- Q** 市内医療機関以外に大分医大、大分県立病院、三愛病院、アルメイダ病院が救急病院となり救急搬送される際、命の道が国道 210 号線です。近年、大分道規制時う回路となる路線であるが、庄内庁舎より大竜スタンド信号機間は、県道改修工事と合わせて改良予定、鬼瀬駅付近より挟間三差路間の改良予定と緊急車両の通行時の障害について問う。
- A** 鬼瀬駅付近より渋滞することはあるが、緊急走行中に明らかに走行に支障が出たという事例の報告はありません。
- A** 緑ヶ丘東口まで道路改良が終了しないと由布市内の工事は開始されない。後数年工事はかかると思われます。
- A** 大分市と共に国道 210 号改修促進協議会を設立して早期の4車線化確保に向け要望しています。緑ヶ丘交差点から向之原間の早期整備を重点項目として要望することとなっております。挟間向之原から庄内庁舎間の要望につきましては、重点項目に着手後もしくは完了が見えてくる段階で重点項目に上がってくるものと考えております。
- Q** 改良工事を待つには時間がかかるなら対岸にバイパス計画は出来ないか。
- A** 色々なことを検討しながら計画していきたいと考えております。



加藤 裕三 議員

「市民サービスの向上について」 他

- Q** 市民サービスの向上について、本庁舎移行後の取り組みの対応や課題についてどうとらえているか。
- A** 本庁舎移行後、どの窓口でも同様なサービスが受けられるよう組織再編をし、問題なく提供ができています。コンビニ収納やお悔やみコーナーなど窓口の一元化によりサービス向上を目指す。さらに、「行財政改革推進計画」「DX推進計画」を実行し行政スマート化に取り組む。
- Q** 水道料金等について。
- A** 「水道料金のあり方について」水道事業運営協議会からの答申を受け住民説明会を開催した。説明会での意見を参考に、人口減少に伴う減収や管路更新による支出増大に対し、将来にわたり安定した供給が行えるよう料金体系の見直しは避けて通れない。数年かけ段階的に値上げする緩和策等慎重に検討し方針を決定する。
- Q** 湯布院公民館跡地利用について。
- A** 平成30年度から各種検討委員会等で意見、提案があり令和3年度跡地利用庁舎PTで課題整理を行い、旧湯布院公民館跡地利用検討委員会を組織し3回の会議を行い答申され、市民の意見を聴取した。今後は、解体後測量し跡地にふさわしい事業をプロポーザルにより整備内容を決定する。
- その他「若者定住の取り組みについて」



平松 恵美男 議員

「由布市の遊休地の活用について」 他

- Q** 由布市の遊休地の活用について、市が保有する未利用地の現状と対策は。
- A** カタログを作成しており、売却や貸付けにつなげたい。
- Q** 急速に宅地開発が進む挟間地域の雨水対策と道路整備について、雨水対策の指導と今後の対策は。
- A** 市の環境保全条例に基づく開発指導は、接続先の水路管理者の放流同意を求め、次に雨水放流量と既設排水路の排水能力の確認を行っている。挟間地域における排水対策は、市発足以来の懸案事項として主に排水路能力の向上を図る対策を進めている。
- Q** 国道 210 号線、市内路線の4車線化計画は有るか。
- A** 大分市、由布市の2市により国道 210 号改修促進協議会を設立し国土交通省九州地方整備局に対し直接要望活動をしている。
- Q** せめて車の離合ができる市道の拡幅は。
- A** 市道の改良については、由布市公共事業優先基準を策定し、自治委員会要望、通学路交通安全協議会要望を基に優先順位をつけ改良を行っている。



首藤 善友 議員

「日出生台米軍演習等について」 他

- Q** これまでの四者協と九州防衛局との協定が、一方的にやぶられる中で行なわれた。特に、3日間の防衛局同行なしの自由外出に、市民は大きな衝撃と不安な日々だった。5月26日、那覇地方裁判所は、面識のない女性に暴行を働いた米兵に有罪判決が出ている事など説明。市長に答弁を求めた。
- A** 国の専管事項であるが米軍の運用に当たりまして、周辺住民に対して最大限の配慮を払い、訓練が実施されることを期待している。自由外出については、巡回体制の強化と県警のパトロール強化をお願いした。様々な機会を捉え、由布市の地域性を主張し、万全の措置が講じられるよう要望する。
- Q** 学校給食の無料化を求める。
- A** 今すぐにはできないが、保護者負担の軽減という事で検討していきたい。
- その他、盛土問題、災害復旧工事の手直しについて求め、それぞれ良い答弁を頂いた。



高田 龍也 議員

「由布市の農政について」
他

- Q** 由布市の農政について、物価上昇対策として抜本的な取組案があるか。
- A** 生産資材高騰の影響を少しでも緩和し、地域農業を支える認定農業者などの経営継続を後押しするため、生産資材購入に係る経費を支援する予算を本議会に計上している。
- Q** 旧湯布院公民館跡地利用について検討委員から答申がされたが、市の考えは。
- A** 地域の中で子どもが安心してすくすく育つ環境づくり、由布院地域の玄関口としてふさわしい空間、周辺が抱える地域課題を解決する空間、というコンセプトを受け止め、決定していきたい。
- Q** 答申書中、監査委員報告に「検討にあたり、市民要望等に真摯に耳を傾け協議」「自主財源確保の観点から収益性も期待できる場所として活用」とある。監査委員報告の位置付けとは。
- A** 市長部局とは別部局として定例監査や例月出納検査等を行い、市財政については財源が乏しい点、新たな財源を含めた税収の向上を図るよう意見が出ている。
- Q** 答申書中、駐車場に関して「周辺の市営・民間駐車場との連携や、市主催イベント時は国民宿舎跡地等とのシャトルバス運行等、ソフト面による課題解決ができるため、優先順位は低いとの見解に至った」とある。湯布院庁舎を利用する方々は平日に多いが、シャトルバスを運行しているのか。
- A** バス等は出していない。



太田 洋一郎 議員

「日出生台演習場での米軍射撃訓練について」 他

- Q** 今回の米軍射撃訓練は米軍の説明会（ブリーフィング）不参加、訓練公開の中止、過去最多の射撃数、そして、訓練終了後の自由外出等、異例づくめの訓練となり、地元住民から不安の声が多く寄せられた。そこで、今回の訓練についてどう総括されたか由布市の見解を伺いたい。
 - A** ブリーフィングの欠席及び訓練公開の中止について、四者協で情報交換をした結果、大分県が代表して九州防衛局、訓練実施現地対策本部に対して情報公開及び情報開示の後退とし強く抗議し遺憾の意を伝えた。自由外出にて演習場から湯布院町内まで徒歩で外出したことは今回が初めてだった。巡回体制の強化と県へ要請し、県警のパトロール強化をお願いし対応した。市の総括として、今後も地域住民の不安払拭のため緊張感を持ち安心・安全の確保に向け不断の要望活動を行い、国に対して万全の措置が取られるよう強く要望する。
- ※その他、ごみ減量化、慢性腎臓病対策、公民館利用等を質問しました。

議会活性化調査特別委員会の活動についてお知らせします

委員長：佐藤 孝昭

ペーパーレス会議システム体験研修会

5月11日に当委員会で研修会を開催し、実際にタブレットを操作しながら、ペーパーレス会議の疑似体験を行いました。



今回は「moreNOTE（モアノート）」というアプリを使った体験会でしたが、研修会では機能・操作の方法など、様々な質問が飛び交っていました。研修後、委員からは、操作感については若干慣れが必要だが、利便性が上がるなら前向きに検討すべきとの意見が出ました。



議会ICT化における調査報告

当委員会ではこれまで、議会ICT化の研究を行なって参りました。6月21日、タブレット端末を導入しペーパーレス議会を目指すのが望ましい旨の報告書を議長に提出しました。



タブレット導入により期待される効果

- ①情報伝達の利便性向上
議員同士の連絡や市民への説明が容易に、迅速に可能
- ②議会運営の利便性向上
ペーパーレス会議システムにより資料閲覧の利便性向上
オンライン会議により災害や感染症禍中でも審議継続可能
- ③紙資源等の節約
紙資料の印刷、配布、差替え等に係る費用・事務負担軽減

■令和4年第2回定例会で審査した請願の結果

区分	件名	代表提出者	結果
請願	地方財政の充実・強化を求める意見書採択について	大分県地方自治研究センター 理事長 中山 敬三	採択
請願	県道616号線ETC由布岳スマートインターICから 県道617号線接続道路(バイパス)の新設についての請願	塚原自治委員 安川 忠通	継続審査
請願	義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願	大分県教職員組合由布支部 執行委員長 浜小路 国弘	採択

■賛否一覧表 (令和4年第2回定例会)

※○=賛成、●=反対、議長(長谷川建策)は採決に加わらない。
※その他の上程された議案については、全員一致で承認・可決した。

議案名	議員名	議決結果	賛成 : 反対		長谷川建策	鷲野弘一	田中真理子	佐藤人己	淵野けさ子	佐藤郁夫	甲斐裕一	加藤幸雄	太田洋一郎	平松恵美男	加藤裕三	田中廣幸	吉村益則	坂本光広	高田龍也	佐藤孝昭	志賀輝和	首藤善友	
			賛成	反対																			
議案40	おおいた消防指令センターシステム 整備業務委託契約の締結について	原案可決	16	1	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案44	令和4年度由布市一般会計補正予算 (第2号)	原案可決	16	1	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
発議3	国民の祝日「海の日」の7月20日への 固定化を求める意見書	原案可決	16	1	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●

編集後記

梅雨の長雨を経験する事なく今年は早く梅雨が明けてしまいました。連日猛暑が続いていますが皆様は元気でしょうか?水分補給を十分に、質の高い睡眠と規則正しい食事で栄養をとり猛暑を乗り越えて参りましょう。さて、広報がお手元に届く頃には参院選も終え新しい国政の姿が見えていると思います。長期化する新型コロナウイルスとの闘い。緊張が続くウクライナ情勢。原油価格高騰による影響で生活に直撃の物価上昇・・・と私達にとって経済対策は待ったなし!!です。この度の補正予算では様々な角度からの救済措置が計上されました。更に少子高齢化や格差の拡大など社会に閉塞感が広がり人々は何らかの不自由や不安を抱えながら生活しています。私達議員はその切実な声に耳を傾け、スピード感と責任を持ち市民に寄りそう事が大事だと思います。市民からの信頼がなければ市議会も成り立ちません。議会も不断の改革に取組み市民の皆様から信頼いただけます様努力して参ります。

淵野 けさ子

議員は公職選挙法に基づき以下の行為は禁止されております。

- ・地域の行事やスポーツ大会への寄附や差し入れ
- ・お祭りへの寄附や差し入れ
- ・お中元やお歳暮
- ・年賀状や暑中見舞いなど時候の挨拶
- ・病気見舞い
- ・葬式の花輪や供花
- ・本人が出席しない場合の結婚祝や香典
- ・初盆のお供えやご仏前

市民の皆様のご理解をよろしく願いたします。

市議会
ホームページ



委員長 加藤 幸雄	副委員長 首藤 善友
委員 田中 真理子 加藤 裕三 坂本 光広 志賀 輝和	委員 淵野 けさ子 田中 廣幸 佐藤 孝昭



次の由布市議会は9月7日(水)に開会予定です(令和4年第3回定例会)